

# 外国子会社の不正事例の検討と対応

— 日本本社の外国子会社に対するサポート方法を掘り下げる —



外国子会社の不正事例の開示数は増えています。

これは、日本本社のコンプライアンス意識が強化され、内部監査・内部通報等の制度が整ってきた会社が増えたことによるものです。これに対して、一部の現地子会社の経営陣は「現地の状況を理解しようとしない日本本社に正直に相談することはできない」という態度をとることがあります。しかし、これでは重要なリスク情報が日本本社に伝えられず、不正リスクは大きくなってしまいます。そこで、日本本社の外国子会社の管理担当者は、できる限り現地の状況を理解しようと努力することが必要となります。

本セミナーは、ベトナム現地に駐在する講師が、外国子会社の不正事例を紹介した上で、ケーススタディをすることによって受講者に現地の考え方をできる限り理解していただくことを目的とします。

## プログラム

14:00 - 15:40 ※途中10分のコーヒープレイクがあります。

### 外国子会社の不正事例の検討と対応

- ①開示されている日本企業の外国子会社の不正事例の紹介
- ②ケーススタディ
  - ・公務員に対する贈賄
  - ・キックバック(与える場合と受領する場合)
  - ・違法残業を例とするグレーゾーン

### 江口 拓哉 氏

(森・濱田松本法律事務所 ホーチミンオフィス代表弁護士)



1995年に当事務所入所以来一貫して中国・アジア業務に従事する。中国に2度駐在し、2018年8月からベトナムホーチミンに駐在する。日本企業の中国及びアジアにおける投資、M&A、事業再編、ジョイントベンチャー、各種取引契約、コンプライアンス防止/違反対応、裁判・仲裁等の紛争等に携わる。

日本経済新聞「2018年企業法務・弁護士調査」国際紛争・訴訟分野にて高い評価を得、The Best Lawyers in Japan(The Tenth Edition)の「International Business Transactions」及び「Trade Law」部門に選ばれる。

15:40~16:00

### 調査ツールのご紹介

#### 橋本 政巳

(合同会社日本カタリスト  
ビジネスディベロップメント・ディレクター)

16:00~16:20

### Q&A 江口 拓哉 氏 / 橋本 政巳

2019年  
**5月14日**(火)  
14:00 - 16:20  
(受付開始 13:30)

80名限定  
**無料**

## 会場

### トスラブ山王健保会館 (2階会議室)

東京都港区赤坂2丁目5-6 トスラブ山王健保会館

#### 【アクセス】

地下鉄銀座線・南北線「溜池山王駅」10番出口より 徒歩3分  
地下鉄千代田線「赤坂駅」2番出口より 徒歩5分

地下鉄銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」10番出口より 徒歩7分

## 対象

企業法務・コンプライアンス、海外事業ご担当の方など

お申込みはWEBサイトから

レクシスセミナー



<http://www.lexis-seminar.jp/>

### 問い合わせ先

レクシスネクシス・ジャパン株式会社  
ビジネスロー・ジャーナル セミナー担当  
✉ [seminar@lexisnexis.co.jp](mailto:seminar@lexisnexis.co.jp)